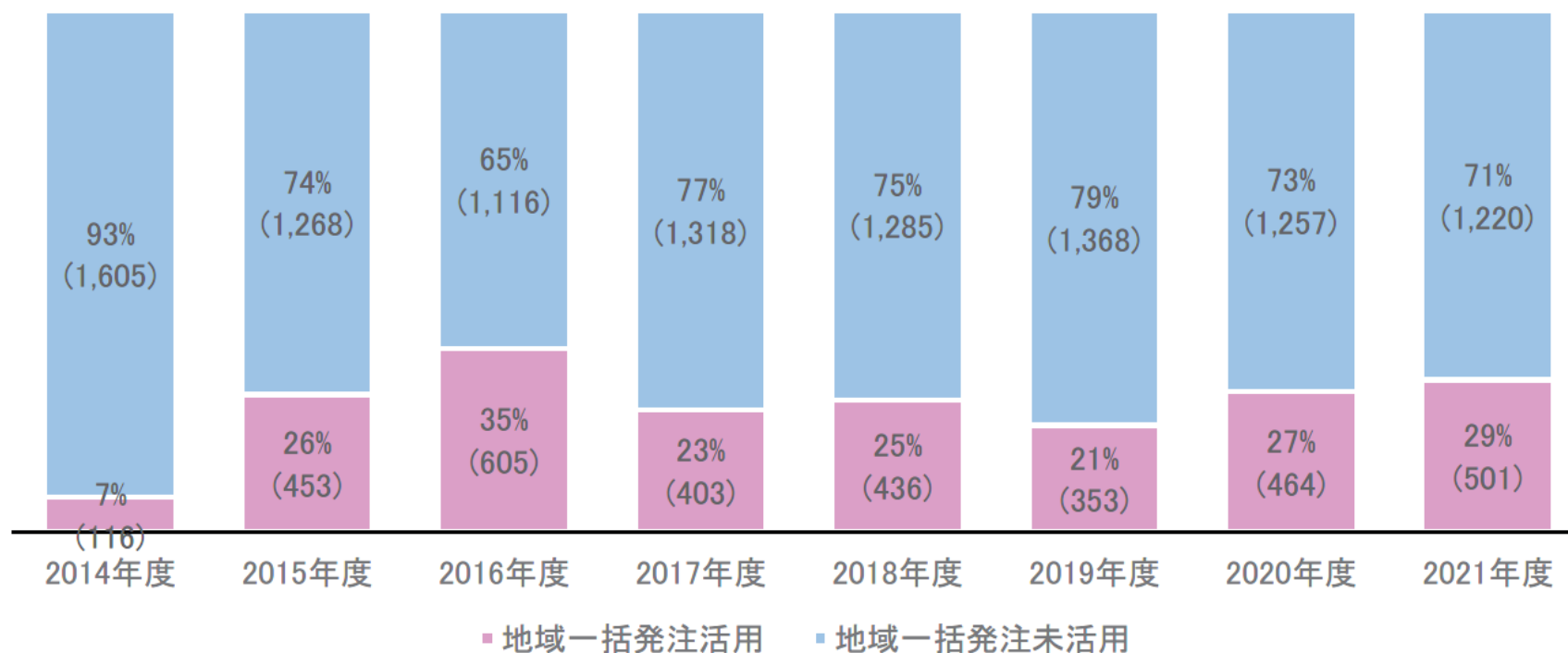


## 4)道路事業における地域一括発注の取組について(全国)

### 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2021年度は501市区町村（33道府県）が地域一括発注を活用しています。

### 市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

## 4)道路事業における地域一括発注の取組について

### 令和4年度 地域一括発注の実施状況

	令和3年度実績		令和4年度予定	
	市	町	市	町
徳島県	3	3	3	3
香川県	1	0	0	0
愛媛県	2	1	1	1
高知県	4	7	4	6
合計	7	11	5	10

※「道路メンテナンス会議調べ」（令和4年9月末時点）

※市町村の点検業務を各県、公社、技術センターがとりまとめて発注

# 地方自治体職員を対象とする研修の実施

- 地方自治体の職員の技術力育成のため、橋梁、トンネル等の定期点検に必要な知識と技能の習得を目的に全国の地方整備局等で研修を開催。
- コースは、橋梁初級Ⅰ（点検）、橋梁初級Ⅱ（措置）、トンネル初級（点検）の3コース。
- カリキュラムは全国共通で、国土技術政策総合研究所担当官の講義など、最新の知見を盛り込み。
- 四国技術事務所（高松市牟礼町）で開催。受講料は不要（コピー代等のみ自治体負担）。
- 令和4年度分は、令和4年3月2日に募集（整備局研修担当から各自治体に連絡）。

## 【研修コースの概要】

橋梁初級Ⅰ（全国共通 H26～） “職員自ら、橋梁の点検ができるようになります”  
○道路橋の定期点検に関する研修。省令に定義される「知識と技能を有する者」として、最低限必要な知識と技能を習得。  
○対象者は、国及び地方自治体の職員で、定期点検に携わる方（今後を含む）。  
○座学＋現地実習＋達成度確認試験の5日間。募集人員20人。 (済) R4開催 8/29～9/2

橋梁初級Ⅱ（全国共通 R2～） “橋梁補修の設計・積算の能力がアップします”  
○道路橋定期点検要領の「措置」に関する研修。過不足のない修繕などの実施にあたり必要な基礎知識を習得。  
○対象者は、国及び地方自治体の職員で、補修設計・工事に携わる方（今後を含む）。  
○座学の3日間。募集人員20人。 (済) R4開催 10/12～14

トンネル初級Ⅰ（全国共通 H26～） “職員自ら、トンネルの点検ができるようになります”  
○トンネルの定期点検に関する研修。省令に定義される「知識と技能を有する者」として、最低限必要な知識と技能を習得。  
○対象者は、国及び地方自治体の職員で、定期点検に携わる方（今後を含む）。  
○座学＋現地実習の3日間。募集人員20人。 R4開催 11/28～30

# これまでの研修の実績

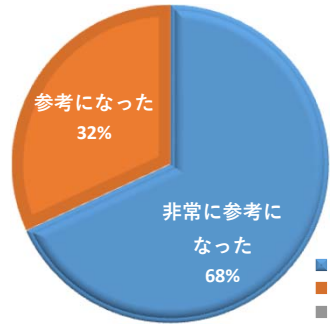
- 全国において平成26年度から令和3年度までに約980の自治体から約5,800名が参加。  
(**四国の実績; 37自治体から251名参加**)
- 受講修了者の**約7割が「非常に参考になった」と回答**。
- 現場に戻った受講修了者から、「**研修で教わったことが、直営の点検業務で役立っている**」、「**点検業者からの報告の理解や質疑に役立っている**」といった声が寄せられている。



研修の状況 (座学)



研修の状況 (現地実習)



点検の経験がない方でも、一から学ぶことができるので、受講することをお勧めします。



A市都市計画課技師

受講修了者アンケートの結果 (四国; H26~R3 N=251名)

打音検査の音の違い、近接目視による腐食・ひび割れの変状把握など実際に経験しなければ理解が難しいことが実習でき、直営の点検業務に役立っています。

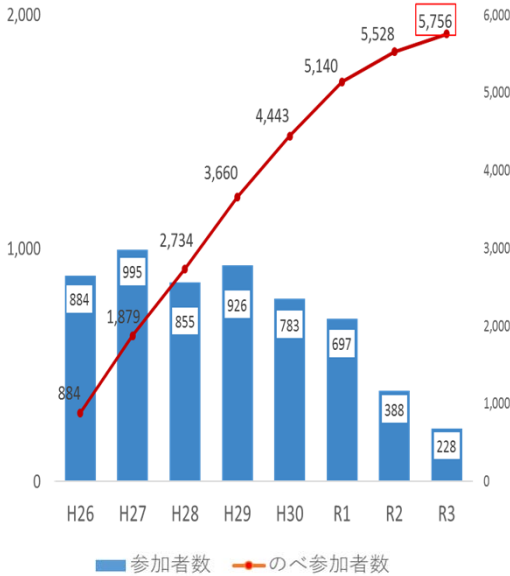


B町土木課技師

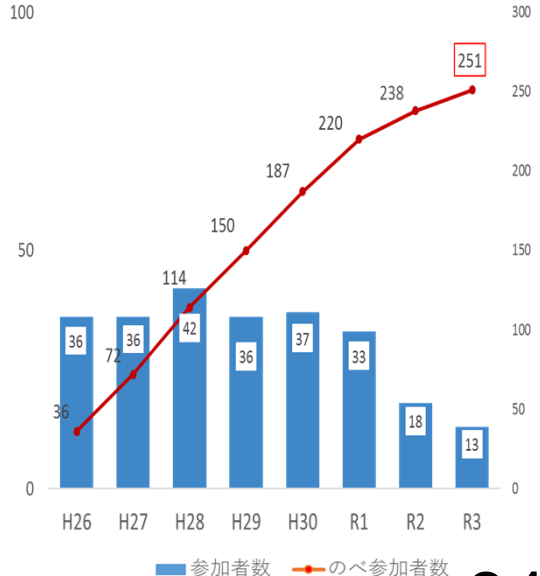
座学と実習を通じ、道路橋の構造や部材の状態の評価に必要な知識と技能を身に付けることができ、点検業者からの報告の理解や質疑に役立っています。



C県土木事務所建設課技師



研修に参加した自治体の職員数の推移 (全国)



研修に参加した自治体の職員数の推移 (四国)

# これまでの参加自治体

## 【参加自治体(H26～R3)】

### 徳島県の自治体(7団体)

- ・徳島県
- ・徳島市
- ・鳴門市
- ・阿南市
- ・三好市
- ・石井町
- ・つるぎ町

### 香川県の自治体(6団体)

- ・香川県
- ・高松市
- ・さぬき市
- ・三木町
- ・琴平町
- ・まんのう町

### 愛媛県の自治体(11団体)

- ・愛媛県
- ・宇和島市
- ・八幡浜市
- ・新居浜市
- ・西条市
- ・大洲市
- ・伊予市
- ・四国中央市
- ・東温市
- ・久万高原町
- ・砥部町

### 高知県の自治体(13団体)

- ・高知県
- ・高知市
- ・室戸市
- ・安芸市
- ・土佐市
- ・宿毛市
- ・東洋町
- ・本山町
- ・いの町
- ・仁淀川町
- ・中土佐町
- ・佐川町
- ・越知町

計 37団体

## 〔参考〕令和4年度分の研修募集

国四整人第 426号  
令和 4年 3月 2日

四国管内各地方自治体  
研修担当部局 御中

国土交通省四国地方整備局  
総務部人事課長  
(公印省略)

令和4年度 四国地方整備局実施研修の聴講員の受入について (照会)

平素より、国土交通行政の推進並びに四国地方整備局計画研修の実施について、ご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

四国地方整備局が実施する研修では、四国地域の国土交通行政の促進に資するため、平成16年度より、四国管内の全地方自治体に対し、研修の聴講を案内しております。

つきましては、令和4年度実施研修の聴講員受入について、(別紙1)及び(別紙2)のとおり、研修ごとの聴講案内を希望されるかどうか照会を致します。

回答については、「(様式1)希望等調査票」にてご回答ください。

なお、ご回答頂きました照会結果に基づき、来年度4月以降、各研修の聴講案内を送付する予定です。

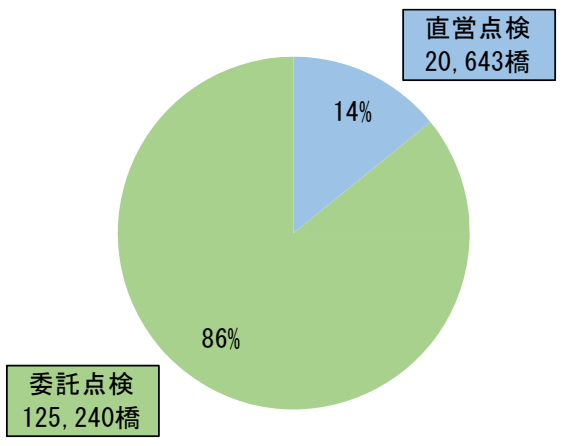
なお、平成24年度より、実費相当分のうちテキスト代と宿泊に係る光熱水量費等の施設維持管理費を、聴講員派遣機関にてご負担いただいております。令和4年度につきましては、(別紙1)に予定額を記載しておりますので、ご参照ください。

年度替わりのお忙しい時期で大変申し訳ございませんが、貴所関係部署へご周知いただきますよう、よろしくお願いいたします。

# [参考] 点検実施者の保有資格等

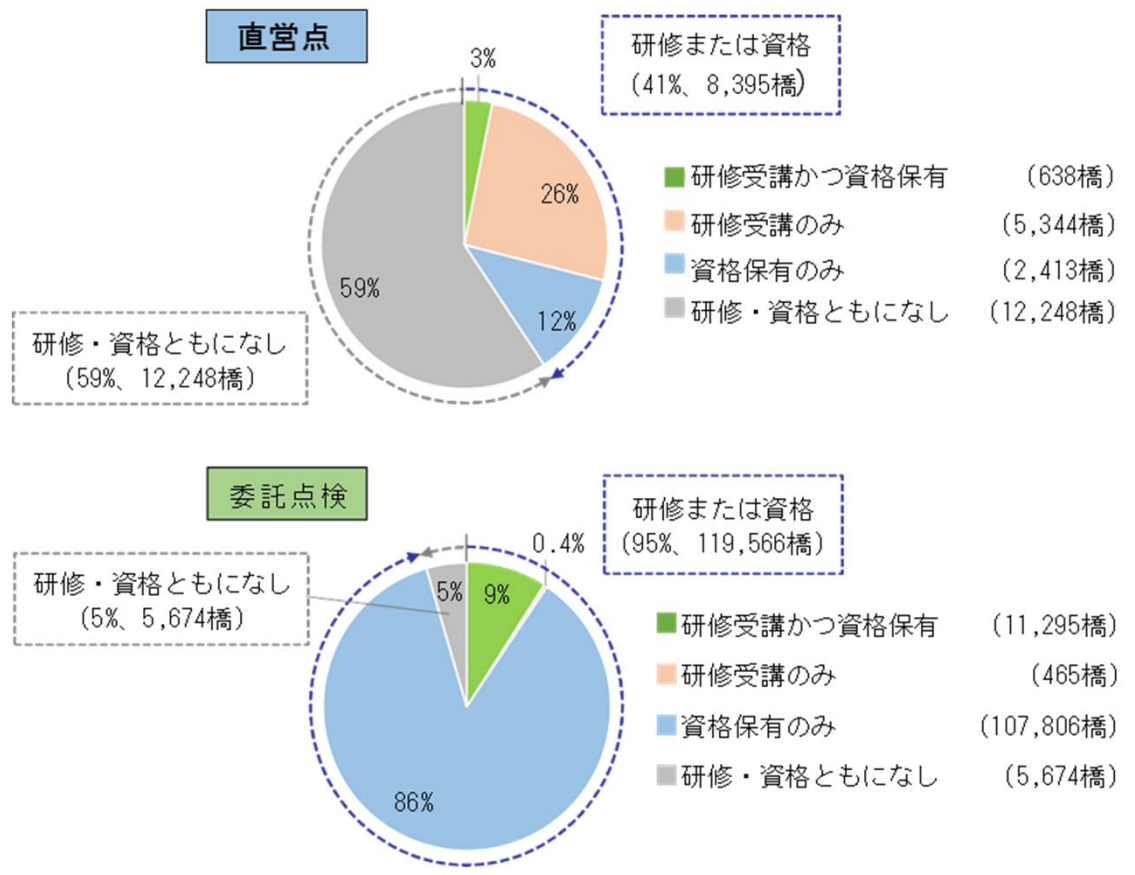
- 2021年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検(直営点検)を実施した割合は14%。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修※<sup>1</sup>を受講又は資格※<sup>2</sup>を保有している割合は41%、研修・資格ともになしは59%。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は95%、研修・資格ともになしは5%。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

○ 2021 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2021 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった145,883 橋を対象に橋梁数ベースで算出。(右図も同様)

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴



令和 4 年 7 月 12 日  
道路局 国道・技術課

## 道路施設の詳細な点検データの公開開始

- 国土交通省道路局では、デジタル道路地図等を基盤として各種データを紐付けるデータプラットフォーム(xROAD)の構築を進めています。
- xROAD の一環として、民間企業等による技術開発の促進、これによる維持管理の更なる効率化等を目指し、「全国道路施設点検データベース」の整備を進めています。
- 5 月から「全国道路施設点検データベース～ 損傷マップ ～」において橋梁、トンネル等の基礎的なデータ(諸元、点検結果等)を無料で公開していましたが、本日から、より詳細なデータの有料公開を開始いたします。

### 1. 全国道路施設点検データベースとは

全国道路施設点検データベースは、橋梁、トンネル等の諸元、点検結果等の基礎的なデータを持つ基礎データベースと道路施設のより詳細なデータを持つデータベース(詳細データベース)群で構成されています。

道路管理者毎に蓄積されている定期点検のデータを一元的に活用できる環境を構築することで、研究機関や民間企業等による技術開発の促進、更にはこれらによる維持管理の効率化・高度化等を目指しています。

### 2. 本日公開したデータ等

基礎データベース部分を 5 月に無料で公表したところですが、詳細データベース部分を本日から有料で公開いたします。ご希望の方は、下記 URL から利用者登録等をお願いいたします。料金等の詳細につきましては下記 URL からご確認ください。

<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>

### 3. 今後の取り組み

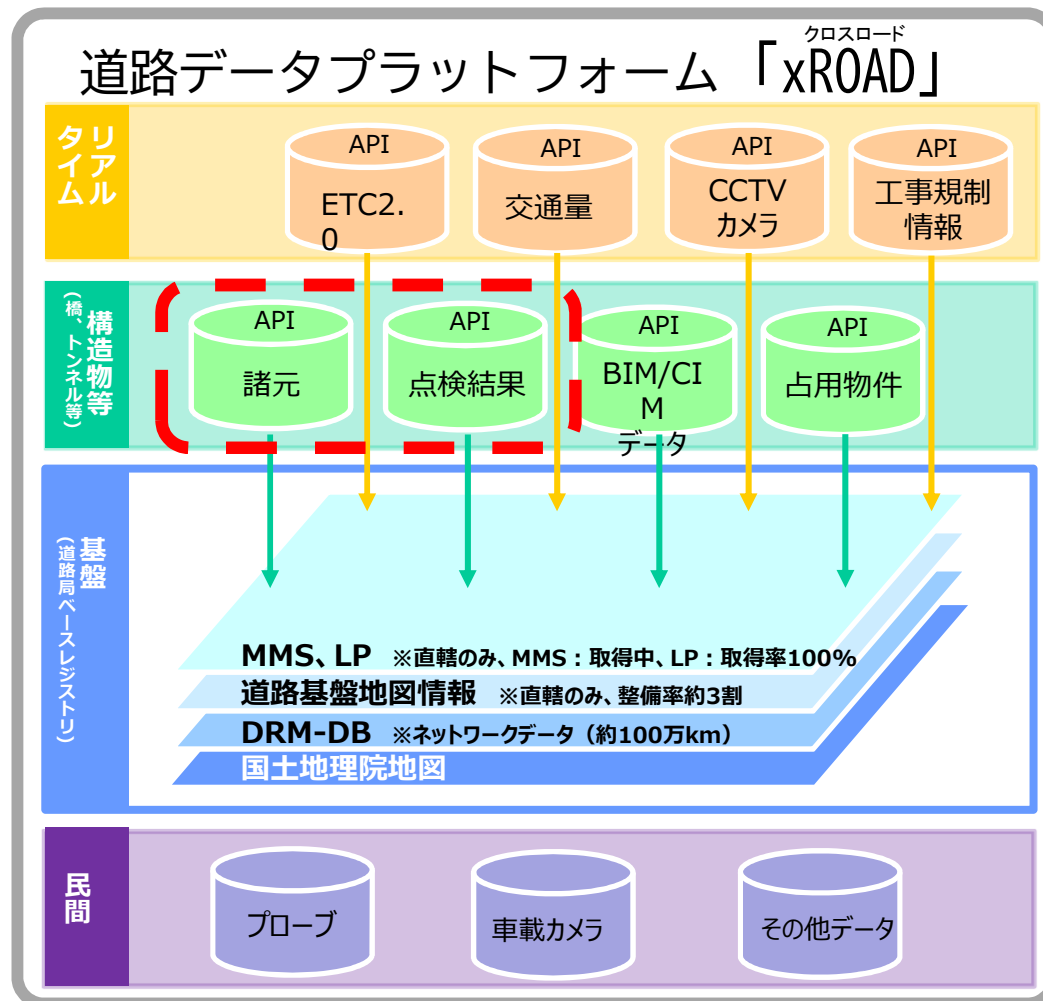
地方公共団体等の道路管理者との連携等によるデータの拡充や国土交通データプラットフォームとの連携等を進めてまいります。

<問い合わせ先>

国土交通省道路局 国道・技術課 松實、小林(内線 37862、37863)  
(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8498 (FAX) 03-5253-1620

# 道路データプラットフォーム(xROAD)の構築

- DRM-DBや道路基盤地図情報、MMS等を基盤とした3次元プラットフォームを構築。構造物等の諸元データや交通量等のリアルタイムデータをAPIで紐付け。
- このプラットフォームを、施策検討や現場管理等に活用するとともに、APIを公開し、一部データを民間開放。オープンイノベーションを促進。



リクエスト

データ

## 道路管理アプリケーション

座-1 当月状況確認

0000\*00月00日 更新データ

30576

9616

イメージ (NEXCO東日本 SMH)

その他  
○ヒヤリハットマップ ○通れるマップ など

高品質な道路管理アプリケーションは積極的に採用

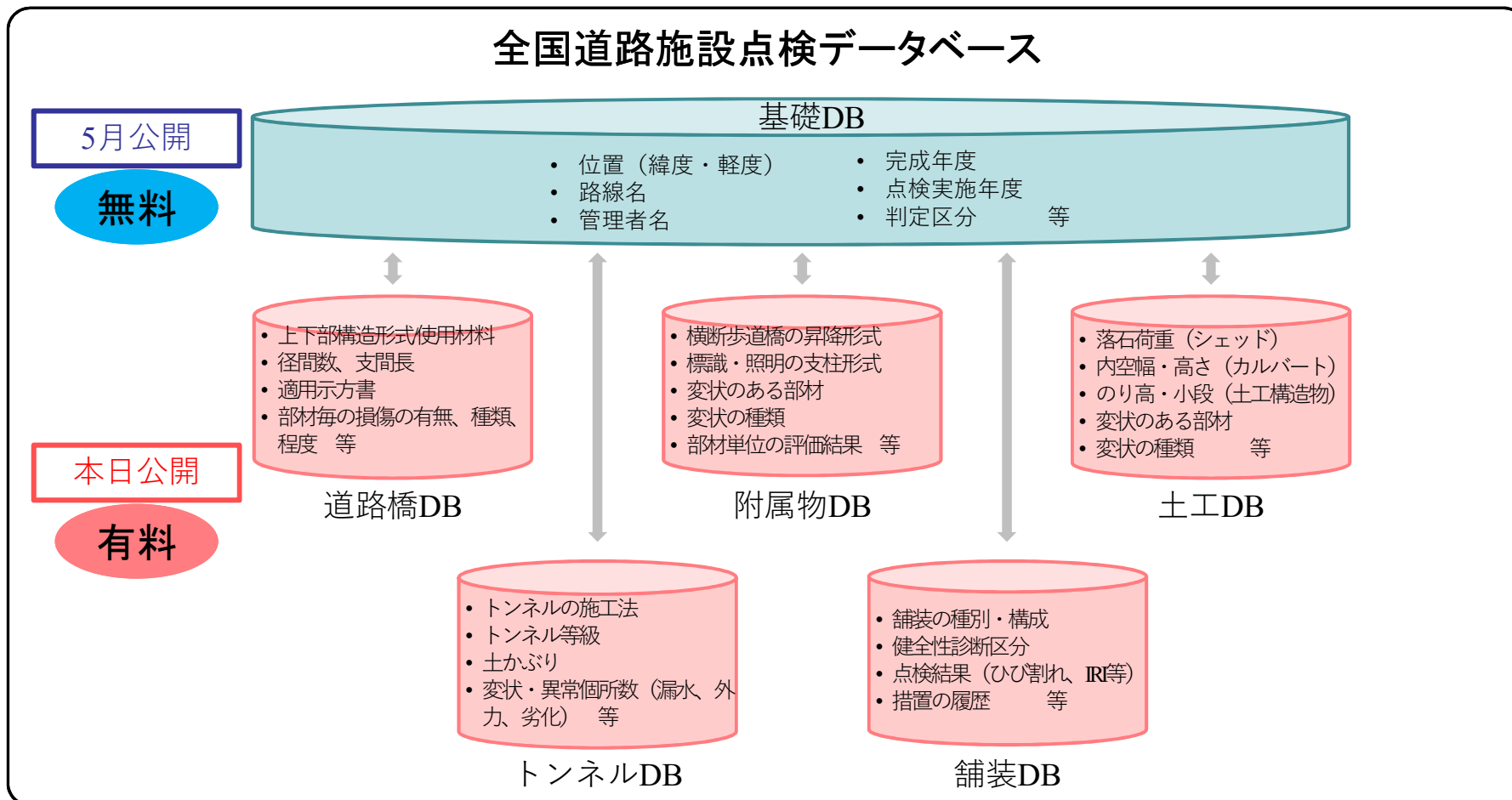
## 民間開発アプリケーション

道路管理以外にも、マーケティングや自動運転等、民間分野も含めて広範な活用を視野



# 全国道路施設点検データベースの概要

- 道路施設の定期点検は2巡目に入り、道路管理者毎に様々な仕様で膨大な点検・診断のデータが蓄積
- その様なデータを一元的に活用できる環境を構築：全国道路施設点検データベース
- 全国道路施設点検データベースは、基礎的なデータを格納する基礎DB及び道路施設毎のより詳細なデータを格納するデータベース群（詳細DB）で構成
- 本日、詳細DBの公開を開始（基礎DB部分は5月に公開済み）：webブラウザからの閲覧等が可能。加えてAPI（Application Programming Interface）を公開



利用者登録等はこちらから→<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>

詳細DB	施設	閲覧可能データ (5月無料公開範囲※1)		閲覧・取得可能データ (7月有料公開範囲※1)	
		対象	データ項目	対象	データ項目
道路橋	橋梁	全道路管理者の 約72万橋		全道路管理者の 約72万橋	<b>詳細データ約200項目</b> ：構造諸元（代表値）、点検結果、耐震補強状況等
				国交省管理の 約3.8万橋	<b>詳細データ計約1,400項目</b> ：上記に加え構造諸元（構造体毎）、構造・材料種別点検結果（要素・部材単位を含む）、点検・補強履歴等
トンネル	トンネル	全道路管理者の 約1.1万本		全道路管理者の 約1.1万本	<b>詳細データ約100項目</b> ：施工法、変状・異常箇所数（漏水、外力、材質劣化）等
				国交省管理の 0.2万本	<b>詳細データ計約300項目</b> ：上記に加え諸元（トンネル等級、土かぶり等）、非常用施設諸元、診断結果等
附属物	横断 歩道橋	全道路管理者の 約1.2万施設		全道路管理者の 約1.2万施設	<b>詳細データ約130項目</b> ：構造諸元（代表値）、点検結果、橋下の管理者等
	門型 標識等			国交省管理の 約0.2万施設	<b>詳細データ計約1,300項目</b> ：上記に加え構造諸元（構造・材料種別等）、変状のある部材、変状の種類、部材単位の評価結果等
舗装	舗装	名古屋国道事務所の <b>約800km</b> ※2		全道路管理者の 約1.7万施設	<b>詳細データ約40項目</b> ：構造諸元（代表値）、点検結果、施設設置場所等
				国交省管理の 約0.4万施設	<b>詳細データ計約900項目</b> ：上記に加え構造諸元（標識表示内容等）、変状のある部材、変状の種類、部材単位の評価結果等
土工	シェッド	全道路管理者の 約0.3万施設		国交省管理の <b>約4.6万km</b> ※2	<b>詳細データ約130項目</b> ：舗装の種類・構成、健全性診断区分、点検結果（ひび割れ、IRI等）、措置の履歴等
	大型 カルバート			全道路管理者の 約0.3万施設	<b>詳細データ約30項目</b> ：内空断面、上部・下部構造、点検結果の判定区分（代表値）、所見等
土工	大型 カルバート	全道路管理者の 約0.8万施設		国交省管理の 約750施設	<b>詳細データ計約200項目</b> ：上記に加え設計条件（落石荷重等）、変状のある部材、変状の種類等
				全道路管理者の 約0.8万施設	<b>詳細データ約30項目</b> ：内空施設、構造形式、使用材料、点検結果の判定区分（代表値）、所見等
特定 土工		-	-	国交省管理の 約2,500施設	<b>詳細データ計約100項目</b> ：上記に加え内空幅・高さ、変状のある部材、変状の種類等
				国交省管理の <b>約1.8万箇所</b>	<b>詳細データ約200項目</b> ：のり高・代表勾配・小段数、主な構成施設、変状の種類等

基礎  
データ  
約15項目※3

※1：7月の有料公開に伴い無料公開の対象を拡大

※2：上下線別の数字

※3：施設名称、路線名、管理者区分、管理者名、管理事務所名、都道府県名、市町村名、緯度・経度、完成等年度、延長、幅員、点検実施年度、判定区分等

# データベースの活用に係る料金

- データベースを継続的に管理運営するためデータの登録・利用を一部有料とさせていただきます
- 登録サービスは順次開始いたします

	登録	利用（閲覧・取得）
基礎データ	無料	無料
詳細データ	<b>有料</b> 道路法第77条に基づき全道路管理者に対し毎年行っている調査結果の登録は無料 <small>※独自のデータベースを保有する道路管理者との連携については、その方法も含め引き続き検討</small>	<b>有料</b> 道路管理者が自身のデータを利用する場合は無料